

社会人対象講座 キャリアアッププログラム

Basic subject Career Up Program

広島経済大学キャリアアップ・プログラム・メールマガジン 第 112 号(2014.03.20 発行)

なお、本メールが不要な方は career-up@hue.ac.jp までご連絡ください。

【お知らせ】

◀ホームページを更新▶

CP ホームページ <http://www.hue.ac.jp/lecture/careerup/index.html>

CS ホームページ <http://www.hue.ac.jp/lecture/culture/index.html>

◀全学期 募集中▶2014 年度キャリアアップ・プログラムとカルチャー講座 受講生募集中！

【目次】

・巻頭言……………広島経済大学 経済学部

経済学科 教授 増原 義剛

・経大見聞録

・CP 2014 年度 1 学期の講義シラバスのご紹介

➢ 木曜日開講 『企業広報入門』…エントリー科目

➢ 木曜日開講 『原価計算の基礎』…ベーシック科目

・読者からのエッセー……………4200m 上空から(第 6 話)

恩師に会いに Packer Taka

・CP/CS に関する、ご質問やお問い合わせ

■巻頭言

広島経済大学 経済学部

経済学科 教授

増原 義剛

3 学期 CP 講師『日本の財政破綻と金融政策』

そして 一年

2012 年の秋以降、政権交代が確実に成りアベノミクスに現実味がでてくると、円安、株高が進行し、翌 2013 年の 1 月、政府・日銀の共同声明により実質的な「2%のインフレターゲット」が導入された。

そして、同 4 月、日銀総裁が黒田氏になると、「量的・質的な金融緩和措置」、いわゆる異次元の金融緩和政策が導入され、現在までのところ日本の経済は「まずまずの成果」をあげてきているとされる。

しかし、大胆な金融緩和、機動的な財政出動、成長戦略という「アベノミクス」は、これからが正念場だという意見が多い。それらの意見・懸念をまとめてみると以下のようなことになろう。

第一に、「成長戦略」があまり期待できないという指摘がある。特に、外資系の投資家から出ているという。TPP をめぐる日米の交渉で農産物関係の関税の縮小、撤廃が問題視されている。これが進まないようでは JA 保護でやっぱり駄目かとなろう。それでなくても、日本の農業就業者の平均年齢は 67 歳前後である。今のままで高い関税を死守しても、若者や株式会社の進出がなければ 10 年もすれば日本の農業は衰退する。多少時間を稼ぎながらも高い関税を縮小、撤廃し、それに耐える日本の農業にしていくしかない。そうなればそこに輸出も含め新たな成長のチャンスが生じよう。

医療、介護の分野でも、今の開業医主体の医師会保護では先がない。混合診療、特に自由診療を大胆に認め、世界中から日本の医療を受けに来る体制を早く構築することだ。ちなみに、開業医の平均年収が 2,500 万円、病院等の勤務医の平均年収が 1,500 万円というのも矛盾を感じる。韓国が一步先んじている。更に、新薬や医療用の機器の規制が日本はかなり厳しい。医療用の機器の 90% 以上は輸入品と聞く。ロボットも含め精密機械は日本のお家芸のはず。ここにも成長の余地がある。

第二に、機動的な財政出動である。この 4 月の消費税率引上げによる景気の腰折れを防ぐため 5.5 兆円の補正予算を組んだ。景気上昇による法人税の増収等を財源としているから良しとしているが、これはこれまでの自民党政権がとってきた手法と全く同じだ。90 数兆円の歳出のうち 40 数兆円が借金である。これほどの国の借金に支えられている日本の経済はやはり異常な経済と言ってよい。金融危機や経済危機の状況ではどの主要国も国が公的資金等で経済を支えるが、それが終われば財政再建に取り組む。日本はまさに財政再建の速度を上げるべきときだ。

第三に、大胆な金融緩和政策である。この緩和策については賛否両論あるが、特に物価上昇率 2% に向けての道筋は目下良好である。しかし、この点については、円安による輸入物価の上昇が主体であり、实体经济の需給からきているかが問題である。円安による株価の上昇による消費の増から、賃金の上昇による消費の増につながるかが問われる。今年の春闘ではベアのアップがある程度進みつつある。「好ましい循環」に入りつつあるとも言えるが、これが将来に向けて持続可能か否かということだ。「2% の物価上昇率」を実現するためには、「更なる円安」や「消費税率のアップ」による一時的な「物価水準の上昇」では意味がない。更に、「財政政策も異常」、「金融政策も異常」という状況は長続きしない。異常な金融政策もその「出口」をそろそろ検討しなければならない。そのポイントは長期金利の動向である。現在は体温計に量的緩和という氷をあてているようなものである。市場参加者が、これは実質的な「国債の日銀引受け」であるという認識に至れば、国債市場は急変し「価格の下落」、「金利の上昇」が生じる。そのようにならないためには、「政府の財政再建」の速度と、日銀の真摯な「市場との対話」が必要である。

第四に、日本の国際収支の変化である。福島原発の事故以来、我が国の貿易収支は赤字化した。そして、原発の代替エネルギー源の輸入を差し引いても赤字が拡大している。最近の円安の J カーブが終わっても輸出が伸びないのだ。そして、所得収支の黒字等を加えた経常収支もここ 4 か月ほど赤字が続いている。製造業の海外展開等の構造変化が進んでいるということだ。これは、かなり深刻に受け止めなくてはならない。「財政収支の赤字」と「経常収支の赤字」という「双子の赤字」になれば、これは、財政収支の赤字を海外からの資金に依存することを意味しており、よりソブリン・リスクに晒されることになる。かつて、基軸通貨国である米国もこの「双子の赤字」のために、「ドル安」、「インフレ」、「高金利」等に悩まされた。エネルギー政策も含め、しっかりとした視点で政策を立てる必要がある。

この一年を振り返り、現在における問題点をいくつかあげてみましたが、さて、来年の今頃はどのような景色になっていま

すか、注視していくこととしましょう。

■経大見聞録

本学の HP に掲載してある記事をご紹介します。生き活きた明るい学生の表情がうかがえます。

URL をクリックして、本学の学生たちの様子をご覧いただければと思います。

お仕事等の気分転換、コーヒープレイクにご覧いただけましたら幸甚です。

【3/4】カンボジア国際交流プロジェクト(第 1 陣)が無事帰国しました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/koudoukan/news/topics/0000007555.html>

【3/8】創ろう！私たちの授業プロジェクトが学生 FD サミット 2014 春 に参加しました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/news/news/topics/0000007562.html>

【3/7】広島ハワイ文化交流プロジェクトが無事帰国しました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/koudoukan/news/topics/0000007557.html>

【3/10】カンボジア国際交流プロジェクト(第 2 陣)がカンボジアに向けて出発しました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/koudoukan/news/topics/0000007556.html>

【3/18】若旅促進プロジェクトが活動発表会を行いました

<http://www.hue.ac.jp/tagblocks/news/news/topics/0000007564.html>

■CP 2014 年度 1 学期の講義シラバスのご紹介

キャリアアップ・プログラム 1 学期の科目とシラバスのご紹介をしております。

今回はキャリアアップ・プログラム木曜日の『企業広報入門』と『原価計算の基礎』の 2 科目をご紹介します。

【木曜日】 エントリー科目 受講料 12000 円 (6 回講義)

科目名		企業広報入門
担当者		松井一洋（メディアビジネス学科 教授）
副題		現代の重要な経営課題である企業広報について基本から学びたい あなたのために
対象者		現在、企業の広報部署でご活躍のみなさんや企業広報に興味をお持ちのみなさん
到達目標		企業広報についての基礎からお話したいと思います。
概要		新しく広報分野に配属になったり、広報に興味をお持ちのみなさまとともに、広報の基礎理論と実務を結びつけながら、わかりやすくお話したいと思います。
授業内容	第1回	現代のパブリックリレーションズとは
	第2回	企業内（インターナル）広報
	第3回	企業外広報（マスコミ研究）
	第4回	危機管理（不祥事、災害など）
	第5回	CSR（企業の社会的責任）と社会貢献
	第6回	まとめ～広報パーソンの視野とやりがい
授業の形式		座学とディスカッション形式併用
授業の進め方		基本的に1回ずつ完結したものとしたいと思いますが、できるだけ全回出席いただきたい と思います。配布する事前課題を読み込んでいただくと効果的です。
教材費などの追加負担		教材費の負担はありません。
受講者へのメッセージ		広島地域では、『企業広報論』の開講は限られています。この講座を通じて、経営戦略に関する新しい視点を獲得していただければと思います。講座では、経営学からマーケティングまで幅広く学びながら、異業種交流も含めて、楽しく有意義な時間になりたいと思っています。
講師紹介		松井一洋（メディアビジネス学科 教授・学科主任） 1949年生まれ。早稲田大学第一法学部卒業後、関西大手私鉄に入社。現業や人事部門の課長、広報室長兼東京広報室長、コミュニケーション事業部長を経て、グループ会社二社の社長を歴任。2004年4月から現職。NPO日本災害情報ネットワーク理事長ほか兼職多数。著書は『災害情報とマスコミそして市民』、『災害—放送、ライフライン、医療の現場から』、『こちらはエフエムハムスター』など。日本パブリック・リレーションズ協会（PRSJ）、日本広報学会、日本災害情報学会、情報通信学会等に所属。

【木曜日】 ベーシック科目 受講料 12000 円 （6 回講義）

科目名		原価計算の基礎
担当者		天王寺谷 達将
副題		よく耳にする「コスト」・・・きちんと理解したいあなたのために
対象者		日常の業務、ニュース、新聞、経済雑誌等で「コスト(原価)」という単語をよく耳にするけれども、そのコストってどうやって計算しているの？そもそもコストを計算する意義って何？コストの計算手法にはどのようなものがあるの？本講座は、これらの疑問を解消したい方々を対象としています。会計の知識は若干必要となりますが、コスト計算(原価計算)について学びたい意欲のある方はどなたでも本講座の対象者です。
到達目標		コストの計算方法、コストを計算する意義、様々なコスト計算手法について、きちんと理解できるようになることが本講座の到達目標です。
概要		原価計算(=コストアカウンティング)とは、すなわちコスト(=原価)を計算することです。原価を計算する目的は、財務諸表作成目的、マネジメント目的と大きく2つに大別されますが、本講座では両方を扱います。第1回では、原価計算を理解するにあたっての基礎を学習します。第2回では、財務諸表作成目的の原価計算として、主に実際原価計算手法について学びます。第3回では、マネジメント目的の原価計算の概要を学習し、第4回、第5回では、その具体的な手法として、標準原価計算、直接原価計算、原価企画、ABC(活動基準原価計算)、マテリアルフローコスト会計について学習します。第6回では、近年重要なトピックとして挙げられる「イノベーション」を促すために原価計算はどのように利用できるのかについて、講師の研究から得られた知見を基に学習します。
授業内容	第1回	原価計算の基礎
	第2回	財務諸表を作成するために行う原価計算
	第3回	マネジメントのために行う原価計算
	第4回	標準原価計算・直接原価計算
	第5回	原価企画・ABC・マテリアルフローコスト会計
	第6回	イノベーションを促すための原価計算
授業の形式		座学
授業の進め方		基本的には座学形式で進めていきますが、時間が許せば、受講者の皆さんとの議論の時間も取りたいと思っています。
教材費などの追加負担		教材の負担はありません。
受講者へのメッセージ		疑問が生じたら、積極的に質問して下さい。本講座が、受講者の皆さんにとって意義のあるものになれば幸甚です。
講師紹介(自己紹介)		天王寺谷達将(経営学科・助教) 専門は、原価計算、管理会計。2013年3月神戸大学大学院経営学研究科博士課程後期課程修了、博士(経営学)。同年4月より広島経済大学経済学部経営学科助教。主に、イノベーションと管理会計の関係性、マテリアルフローコスト会計について実践の観点から研究している。

第6話 恩師に会いに

恩師は、3年間のパラグアイでの日本語教師の仕事を終えシドニーへ帰ってきた。

恩師に頼まれ広島を案内した Roz からシドニー訪問を促されていたこともあり、恩師がシドニーへ居る間に行ってみたいと思い、恩師とメールでシドニー往復航空チケットの価格（格安相場）や泊まるゲストハウスのロケーションや観光を相談した。

恩師には『高いね、俺だったら買わねーよ。』と言われながら、まず航空チケットを買った。当然のことだが、広島空港からの出発は地の利が悪い。関空や羽田、成田空港から出発する航空会社は多数あるが、広島空港からの出発は航空会社が限定されているし、ほとんどが中国の航空会社で、中国国内でのトランジットになる。仕方なく、中国の航空会社のシドニー往復の航空チケットを購入した。

次にロケーションの良い宿泊地域を恩師に聞くと『オーストラリア人ってのはなあ、大体どの家庭でも年末年始は家族旅行するんだ。だからシドニーへ来る気があるなら、早くホテルを予約しないと取れねーよ。』と言われたので、Roz 夫妻の住んでいる地区はマンリービーチという、何キロも浜辺が続く綺麗な海岸があると恩師が話してくれたことを思い出し、マンリービーチ近くのゲストハウスを予約した。そこはシドニーからフェリーで移動しなくてはならない場所だが『綺麗な浜辺を毎日散歩できる』という魅力があった。

『よし、これで完璧じゃ！』と思った時、恩師から思いも寄らぬ言葉が返って来た。『そう言えば、お前さんは一体何をしにシドニーへ来るんだ。以前言ったようにオーストラリア人ってのはさあ、年末年始と家族旅行するのが一般的だし、特にクリスマスシーズンは何ヶ月前から計画を立てて親戚、友人達と過ごす習慣があるんだ。お前さんがシドニーへ来て Roz と Peter も迷惑だろうし、誰にも相手にされやせんよ。俺もベトナムへ行くから居ねえし…。』と爆弾発言。

それを聞いた俺は『何じゃそりゃ！今さら、何ゆー（言う）とんじゃ！ワシはアンタと Roz & Peter 夫妻に会いに行くに決まっとるじゃろが！』と心の中で『巨人の星』の星 一徹ばりに、卓袱台をひっくり返していた。格安航空券、ゲストハウスのキャンセルにはお金がかかる、無駄な事でお金を支払うくらいなら、

俺は啞然として目の前が暗くなった。ここ数ヶ月、恩師とシドニー行きを相談して、あれこれ予約したのは何だったんだろうか？特に恩師の言った言葉で『俺もベトナムへ行くから居ねえし…。』はショックだった。

確かにシドニー行きの話をしていた時に『恩師（貴方）に会いに行くから。』とハッキリと言わなかった俺が悪いかもしれない。しかし、今までの相談してきた経緯などを考えても、また恩師が突然広島へ来た時の対応、恩師の頼みで Roz & Peter を広島案内したことを考えてみても、義理と人情を持ち合わせている大和魂を持った日本人なら分かりそうなことだと思った。

俺は頭にきて、『日本人なら“義理と人情”の心意気を持ち合わせているはずですよ。それを感じないのは日本人の心を捨てて、オーストラリア人になりきったのでは無いですか。』とメールすると、恩師からの返事は『しばらく、お前さんとは連絡を取らないから。』と絶縁状に近い返事が来た。

This story is to be continued.

■CP/CSに関する、ご質問やお問い合わせは下記の連絡先へ、ご遠慮なくご連絡ください。

731-0192

広島市安佐南区祇園五丁目 37-1

広島経済大学

教育・学習支援センター 教育支援課

お問い合わせは電話番号(082)871-9345 または E-mail career-up@hue.ac.jp どうぞ。

HUE 広島経済大学
CAREER UP PROGRAM